

早稲田大学社会科学部【総合問題】解答例

I

- 問1 2・8月頃がピークのM字型パターンから、季節病の死亡数低下や流行期変化で、夏のピークが消え総死亡率も低いパターンになった (60字)
- 問2 a
- 問3 c、f
- 問4 b
- 問5 d
- 問6 e
- 問7 b、e、f
- 問8 a、e

II

- 問1 f
- 問2 e
- 問3 d
- 問4 d
- 問5 b、f
- 問6 釣りで魚を獲っていた個人が、釣りを中断し、時間や資本を投下して漁船や漁網などの設備を整え、従業員も確保してより大規模な漁業の操業を計画することは、より多くの収穫を見込んで「建設」「充填」に該当する裁量的期間を設けることなどから、迂回化の例と言える。この計画で利子率が非常に高い場合、遅れて発生することになる収穫の利潤は費用よりも大きく割り引かれ、利潤率が低くなるので、考量の結果、迂回化は断念される。(200字)